

単元名 くりかえしと かさなり

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 曲想と反復や速度などの音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付くとともに、互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けることができる。
- (2) 楽器の音や、旋律や音型の反復と重なり、速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりすることができる。
- (3) 反復や重なり、速度の変化を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

02070302_001

【教材名】 汽車は 走る (歌唱 器楽) しゅっぱつ (鑑賞) (P. 48～P. 49)

【準備等】 範唱CD, 鑑賞CD, 木琴, 鍵盤楽器, 太鼓など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 「汽車は走る」を、歌や楽器で演奏したり「しゅっぱつ」を、様子を感じ取りながら聴いたりする。</p> <p>○「汽車は走る」の主旋律「ア」を歌詞唱する。</p> <p>★汽車の 走る ようすを 音楽で あらわそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴いて、曲の感じをつかむ。 ・汽車が走る様子について、どんなところを走っていくのか想像し、意見交流する。 ・速度や歌い方を変えながら繰り返し歌う。 ・歩きながら歌ったり、汽車の動きを取り入れたりしながら歌う。 <p>○副次的旋律「イ」を加えて歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱に合わせて、「イ」のパートを木琴で打つ。 ・「イ」のパートを歌う。 ・「イ」のパートを繰り返し歌い、慣れてきたら奇数回は「ガッタンゴットン」偶数回は「シュッシュッポッポ」で歌う。 ・「ア」と「イ」を合わせて歌う。 <p>○「汽車は走る」を、楽器で演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各パートの鍵盤の位置を確認し、楽器で演奏する。 「イ」…木琴 「ウ」…鍵盤楽器 「エ」…太鼓 など ・「ウ」と「エ」を拍にのせて合わせる。 ・「イ」を加える。 ・速度を工夫して演奏する。 ・「ア」を歌唱で加える。 <p>○「しゅっぱつ」を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汽車に乗っている様子を想像し、体を動かしながら聴く。 ・聞こえてきた音や、想像した様子などについて、交流する。 ・速度の変化に気を付けて聴く。 <p>○汽車の様子を表しながら「汽車は走る」を演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しゅっぱつ」の鑑賞での気付きを確認する。 ・駅から駅までをどのように進むのか意見を出し合い、進み方を決める。 (例) 駅を出発(少しずつ速く)→平らなところを走る(速さを変えない)→山を登る(遅く)→山を下る(速く)→町が近づいてくる(速さを変えない)→次の駅(少しずつ遅く) ・楽器を決めて演奏する。 ・楽器を交替しながら、聴く人と歌ったり演奏したりする人に分かれ、感想を伝え合う。 <p>○工夫したことや楽しかったことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・山を登っていくときや下っていくときがそれぞれどのような感じになるかを問いかけ、歌う速さの工夫に結び付ける。 ・汽車の車輪の動きなどを取り入れると、様子をつかみやすい。 ・児童なりの自由な動きでよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を使い、木琴の鍵盤を確認する。 ・「イ」のパートも、汽車の様子を考えて速度を変えながら繰り返し歌わせる。 <p>【共通事項】反復</p> <p>【評】曲想と、反復や速度などの音楽の構造との関わりを考えながら歌う活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員がそれぞれの楽器を一度は体験できるよう、交替しながら演奏する。 ・太鼓は机を代用してもよい。 ・伴奏の部分だけを拍にのって速くしたり遅くしたりして繰り返し、そろえて演奏することの楽しさを感じられるようにする。 ・楽器だけで繰り返し演奏し、流れができてきたら主旋律をのせる。 <p>【共通事項】音の重なり</p> <p>【評】互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する活動を通して「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅から出発していろいろなところを走り、駅に停車するまでを想像させる。 <p>【評】楽器の音や、旋律や速度の変化に気を付けて聴く活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汽車の走る様子に合わせて、速度が変わったことを思い出させる。 ・汽車が走る様子について、児童の意見を板書し、速度や強弱、繰り返す回数などを全体で共有する。 <p>【共通事項】速度</p> <p>【評】反復や音の重なり、速度の変化を楽しみながら演奏する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】速度の変化や旋律の繰り返しなどを工夫して、汽車の様子を表す演奏をする活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】